

愛知県を巡る社会経済状況の変化に関する県民意識調査について

「あいちビジョン 2030」策定後の3年間では、新型コロナウイルス感染症の流行やデジタル化の進展、少子化の進行など様々な社会経済状況の変化があった。これらの変化による県民の皆様の仕事や生活への影響を把握し、ビジョンのフォローアップに役立てるため、愛知県在住の方を対象に意識調査を実施した。

【概要】

調査方法	インターネット	調査票の配布：郵送 調査票の回収：インターネット
調査対象	4,000人（インターネットモニター（GMOリサーチ）に登録する満20歳以上69歳以下の県民）	1600人（満20歳以上69歳以下の県民）
調査時期	令和5年7月18日～令和5年8月8日	令和5年7月26日～令和5年8月6日
回収結果	4,000人（20～60歳代の男女各400件 ※また、名古屋・尾張・西三河・東三河の各地域で900～1100人となるよう設定）	219人（有効回収率13.7%）
調査内容	<p>○ 属性設問：10問（年齢、性別、居住地、学歴、職業、家族構成、収入）</p> <p>○ 本設問：41問</p> <p>(1)少子化 12問【重要政策の方向性④関連】</p> <p>主な質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚に対して前向きな人が増えるためにはどういったことが必要だと思いますか。 ・この3年くらいで子どもを持つ（増やす）という意識に変化はありましたか。 ・子どもを持つ（増やす）という意識が変化した理由は何ですか。 <p>(2)ワーク・ライフ・バランス 9問【重要政策の方向性⑤関連】</p> <p>主な質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワーク・ライフ・バランス」の満足度について、「今から3年くらい前」と「現在」の点数をお答えください。 ・「ワーク・ライフ・バランス」に関する現在の満足度に大きく影響しているものはどれですか。 <p>(3)リカレント教育・リスキリング 8問【重要政策の方向性③関連】</p> <p>主な質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び直し（リカレント教育・リスキリング）に関心はありますか。 ・これまで、学び直しを行ったことはありますか。 <p>(4)デジタル化 4問【重要政策の方向性⑤、⑧関連】</p> <p>主な質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場や生活においてデジタル化が進んでいると感じますか。 ・デジタル化が進むことで仕事や暮らしがどう変わったと感じますか。 <p>(5)東京一極集中 7問【重要政策の方向性⑨関連】</p> <p>主な質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この3年くらいで、首都圏への移住に対する考えに変化はありましたか。 ・首都圏への移住に対する考えの変化の理由は何ですか。 ・首都圏に移住したいと考える理由は何ですか。 <p>(6)自由記述 1問</p>	

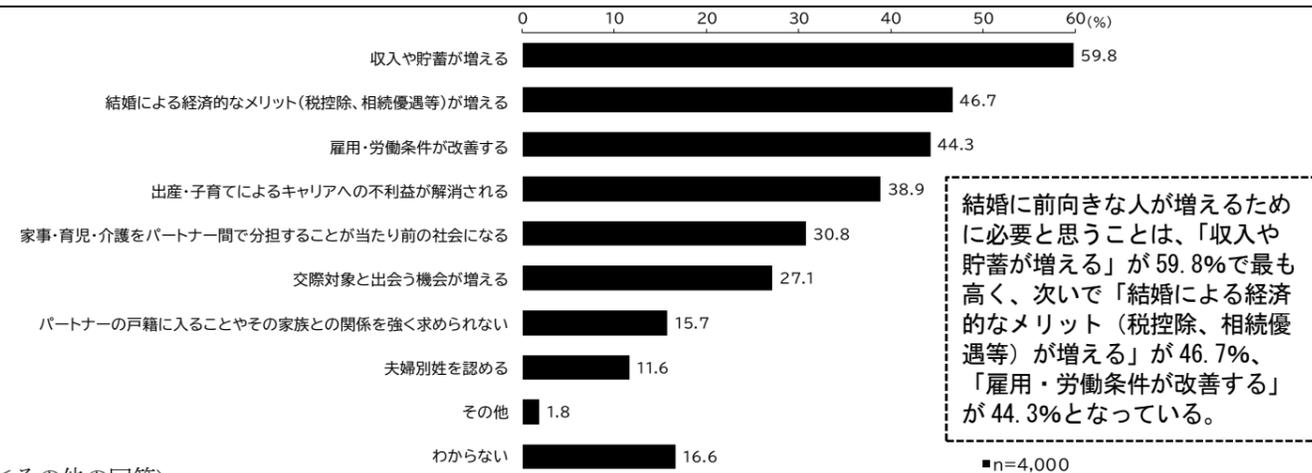
【今後のスケジュール】

8月～10月頃	分析・クロス集計
10月～11月頃	アンケート調査結果等に関する有識者へのヒアリング調査
2023年1月頃	第2回有識者懇談会における報告

愛知県を巡る社会経済状況の変化に関する県民意識調査 モニター調査結果（中間報告抜粋版）①

■少子化について 全12問【重要政策の方向性④関連】

問1 結婚に対して前向きな人が増えるためにはどういったことが必要だと思いますか。(複数回答可)

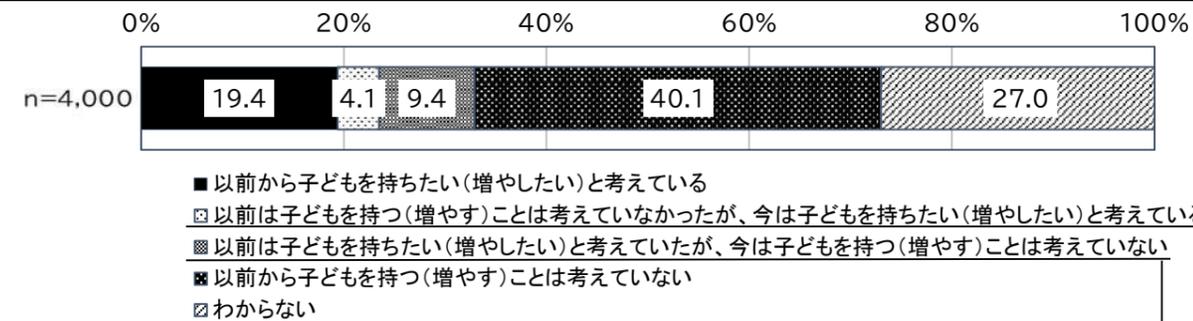


結婚に前向きな人が増えるために必要と思うことは、「収入や貯蓄が増える」が59.8%で最も高く、次いで「結婚による経済的なメリット(税控除、相続優遇等)が増える」が46.7%、「雇用・労働条件が改善する」が44.3%となっている。

<その他の回答>

- 地域全体で「子育て」をしていく思想や意識の改革をする。親一人もしくは核家族(一組の夫婦)で子育てをするには、時間や経済だけでなく体力面でも無理がある。
- 保育のサポートの充実や住宅手当の倍増、労働時間の改善
- 同性婚の許諾やその他の性的マイノリティに対する結婚等のルール整備の推進

問2 この3年くらいで子どもを持つ(増やす)という意識に変化はありましたか。



問3 問2のように考えが変化した理由は何ですか。(問2で「変化があった」と回答した方のみ、複数回答可)

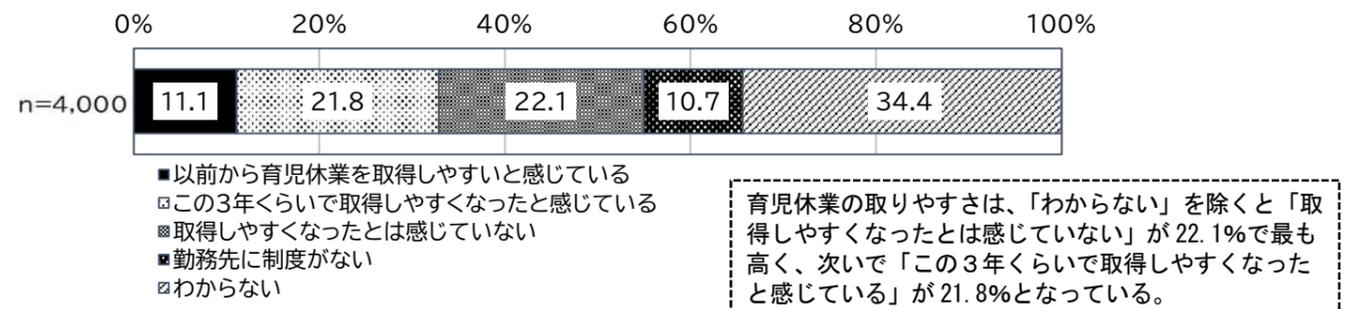


意識が変化した理由は、「自分(もしくはパートナー)が年齢を重ねたから」が48.9%で最も高く、次いで「経済状況の変化」が22.3%、「自分(もしくはパートナー)の健康状態の変化」が14.8%となっている。

<その他の回答>

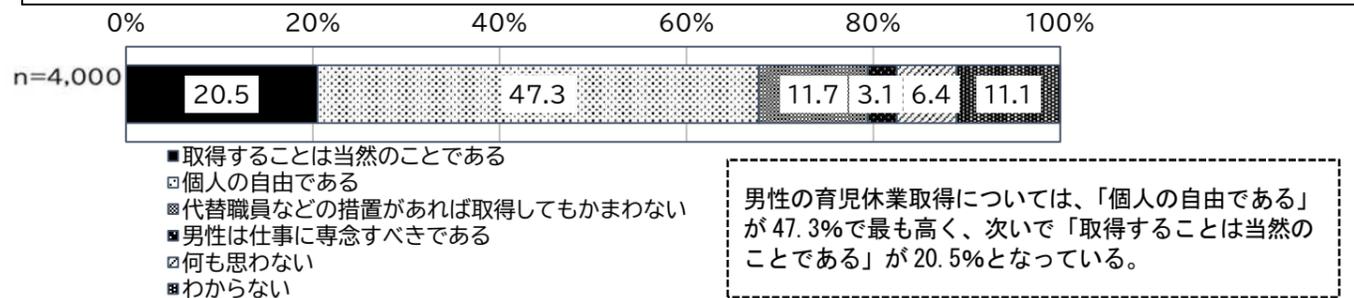
- 一人暮らしで寂しさを感じるようになったから。
- 子育てを経験して、この先の世の中では子どもが生きていくには色々大変でかわいそうに思うから。
- 自分の時間が減るから。

問4 自分または周囲の人が育児休業を取りやすくなったと感じますか。



育児休業の取りやすさは、「わからない」を除くと「取得しやすくなったとは感じていない」が22.1%で最も高く、次いで「この3年くらいで取得しやすくなったと感じている」が21.8%となっている。

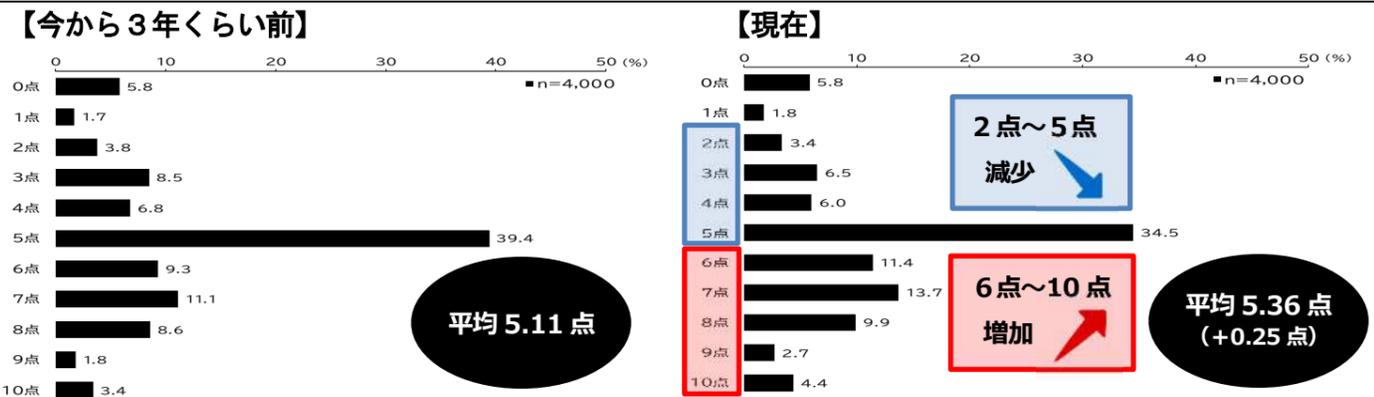
問5 男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。



男性の育児休業取得については、「個人の自由である」が47.3%で最も高く、次いで「取得することは当然のことである」が20.5%となっている。

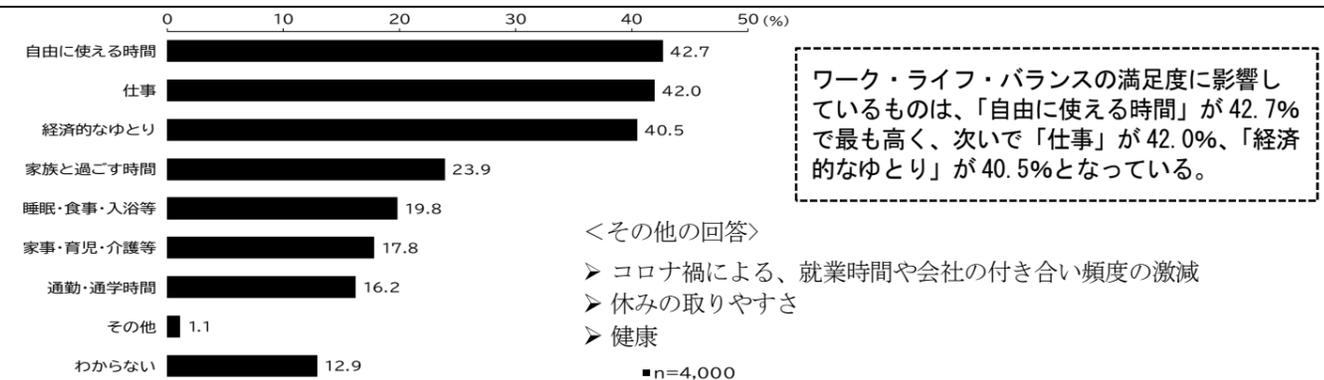
■ワーク・ライフ・バランスについて 全9問【重要政策の方向性⑤関連】

問1 「ワーク・ライフ・バランス」の満足度について、「今から3年くらい前」と「現在」の点数をお答えください。(不満を0点、満足を10点として回答)



今から3年くらい前のワーク・ライフ・バランスの満足度は、「5点」が39.4%で最も高く、次いで「7点」が11.1%、「6点」が9.3%となっている。現在のワーク・ライフ・バランスの満足度は、「5点」が34.5%で最も高く、次いで「7点」が13.7%、「6点」が11.4%となっており、今から3年くらい前の満足度と比べると6点以上と答えた人の割合が増加している。

問2 「ワーク・ライフ・バランス」に関する現在の満足度に大きく影響しているものはどれですか。(複数回答可)



ワーク・ライフ・バランスの満足度に影響しているものは、「自由に使える時間」が42.7%で最も高く、次いで「仕事」が42.0%、「経済的なゆとり」が40.5%となっている。

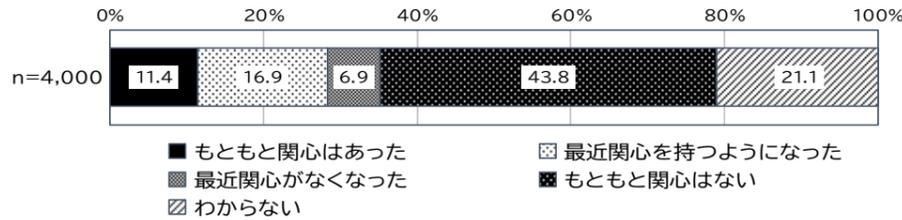
<その他の回答>

- コロナ禍による、就業時間や会社の付き合い頻度の激減
- 休みの取りやすさ
- 健康

愛知県を巡る社会経済状況の変化に関する県民意識調査 モニター調査結果（中間報告抜粋版）②

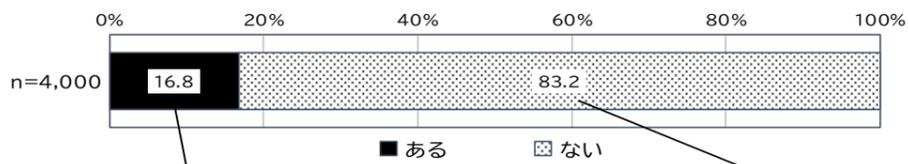
■リカレント教育・リスキングについて 全8問 【重要政策の方向性③関連】

問1 学び直し(リカレント教育・リスキング)に関心はありますか。



学び直しへの関心は、「わからない」を除くと「もともと関心はない」が43.8%で最も高く、次いで「最近関心を持つようになった」が16.9%となっている。

問2 これまで、学び直しを行ったことはありますか。



問1で「もともと関心があった」「最近関心を持つようになった」と回答した人の割合の合計が28.3%であったが、実際に学び直しを行った人の割合は16.8%となっている。

問3-1 学び直しを行ったことで変化はありましたか。(複数回答可)

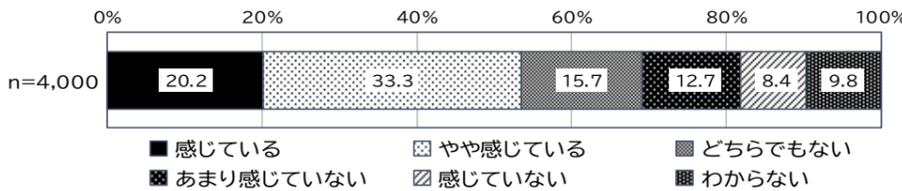
- 資格の取得ができた (38.5%)
- 変わらなかった (24.0%)
- 在籍企業での業務の質が高まった (17.9%)
- 転職に役立った (15.8%)

問3-2 学び直しを行わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 時間がない(忙しいから) (32.6%)
- 勉強にお金をかける余裕がないから (31.7%)
- 特に理由はない (27.9%)
- 勉強が嫌い(面倒臭いから) (19.7%)

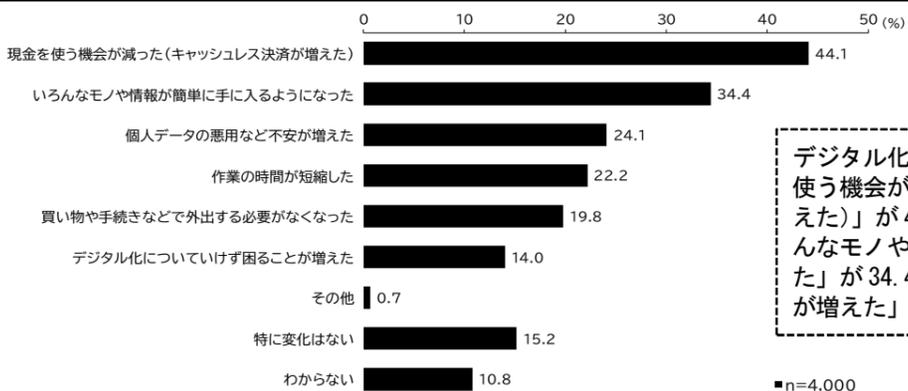
■デジタル化について 全4問 【重要政策の方向性⑤、⑧関連】

問1 職場や生活においてデジタル化が進んでいると感じますか。



デジタル化が進んでいると感じるかは、「やや感じている」が33.3%で最も高く、次いで「感じている」が20.2%、「どちらでもない」が15.7%となっており、デジタル化が進んでいると感じていると答えた人の割合が50%以上となっている。

問2 デジタル化が進むことで仕事や暮らしがどう変わったと感じますか。(複数回答可)



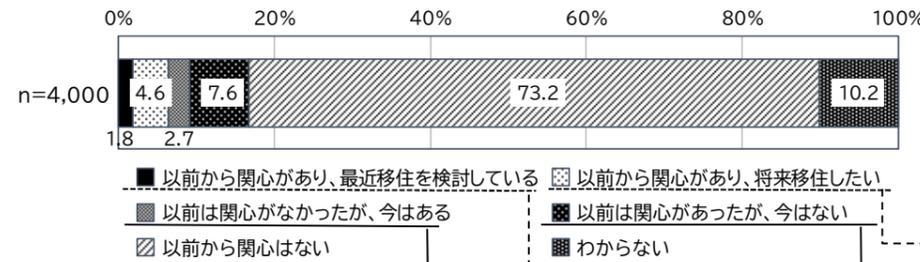
デジタル化が進むことでの変化は、「現金を使う機会が減った(キャッシュレス決済が増えた)」が44.1%で最も高く、次いで「いろんなモノや情報が簡単に手に入るようになった」が34.4%、「個人データの悪用など不安が増えた」が24.1%となっている。

<その他の回答>

- デジタル化によってかえって作業時間が増えたものもある。アプリや機材の購入・維持費の支出が増えた。
- コミュニケーション手段が増えて、リモートワークが楽になった。
- 他人との接触、コミュニケーションが無くなりつつある。
- デジタル化による情報過多。

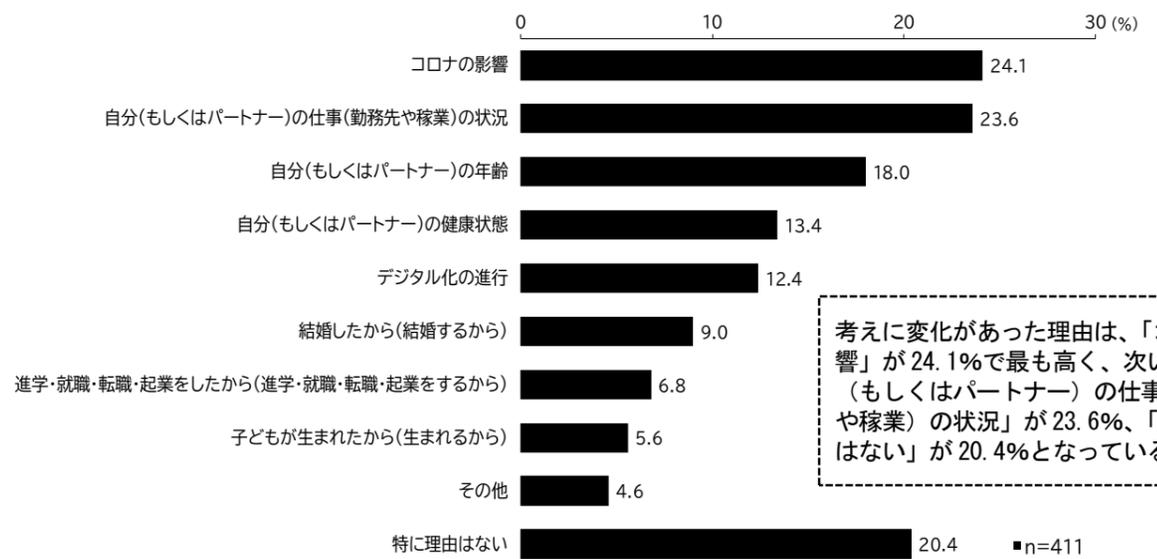
■東京一極集中について 全7問 【重要政策の方向性⑨関連】

問1 この3年くらいで、首都圏への移住に対する考えに変化はありましたか。



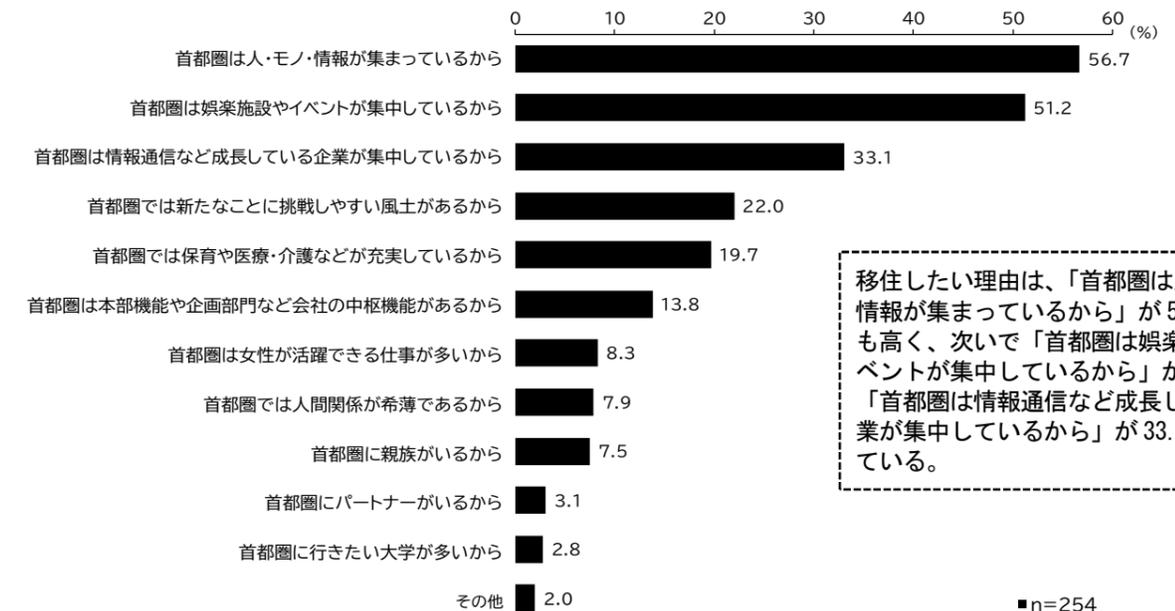
首都圏への移住に対する考えの変化は、「以前から関心はない」が73.2%で最も高く、次いで「以前は関心があったが、今はない」が7.6%となっており、関心がないと答えた人の割合が80%以上となっている。

問2 その理由は何ですか。(問1で「考えに変化があった」と回答した方のみ、複数回答可)



考えに変化があった理由は、「コロナの影響」が24.1%で最も高く、次いで「自分(もしくはパートナー)の仕事(勤務先や稼業)の状況」が23.6%、「特に理由はない」が20.4%となっている。

問3 移住したいと考える理由は何ですか。(問1で「以前から関心がある」と回答した方のみ、複数回答可)



移住したい理由は、「首都圏は人・モノ・情報が集まっているから」が56.7%で最も高く、次いで「首都圏は娯楽施設やイベントが集中しているから」が51.2%、「首都圏は情報通信など成長している企業が集中しているから」が33.1%となっている。